

フィールドは、ふるさとから世界まで。



途上国と東北企業をつなぐオンラインセミナー～タイ、タンザニアの課題・ニーズ、東北企業の途上国進出に向けた取組み～



独立行政法人 国際協力機構

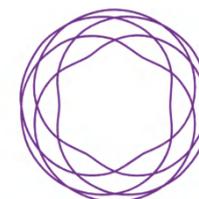
福島第一原発被災を乗り越えて 福島から海外への取組み

2021年2月12日



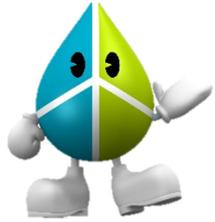
株式会社ふたば

代表取締役社長 遠藤 秀文
技術士（建設部門）、APECエンジニア



地域未来牽引企業





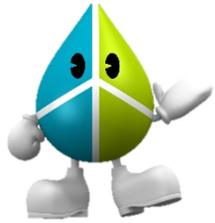
ふたばのミッション

[【福島から世界へ】株式会社ふたば紹介映像 2分Ver - YouTube](#)

福島イノベーション・コースト構想推進機構制作

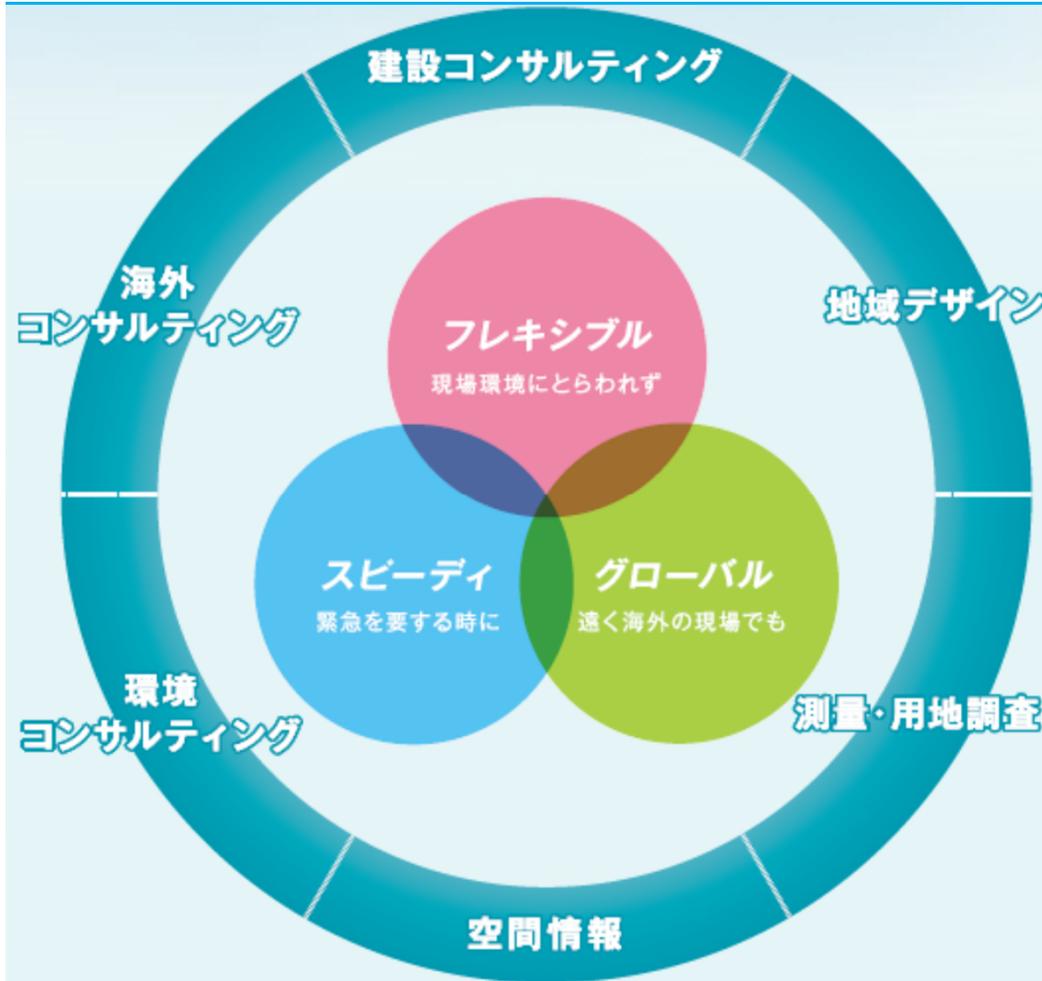
1.会社概要 2.業務概要 3.ふたばでの働き方 4.募集要項





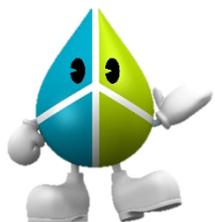
株式会社ふたばの紹介

～グローバルへのこだわり～



■創 業：昭和46年（1971年）11月

■従業員数：50名



会社の理念

企業理念

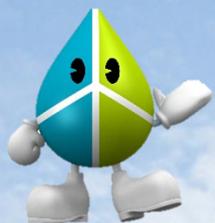
広い視野、そして情熱と探究心を高め、社会の元気エネルギーの礎を築くことに貢献する

社是

先義後利
不易流行

経営ビジョン

ふたばは、価値創造とイノベーションを常に意識・行動し、地域そして世界に求められるコンサルタントを目指します。

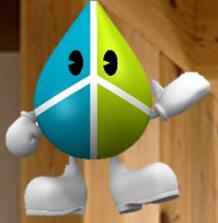


富岡本社



1. 会社概要 2. 業務概要 3. ふたばでの働き方 4. 募集要項



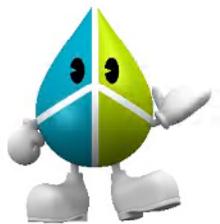


富岡本社



1. 会社概要 2. 業務概要 3. ふたばでの働き方 4. 募集要項





具体的な仕事内容例：建設コンサルタント



道路・橋梁



港湾・漁港



上下水道



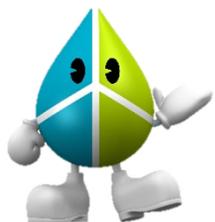
海岸・河川



農業土木



まちづくり



震災後導入した最新機器



UAV (ドローン)



地上レーザスキャナ

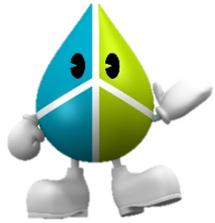


車載式レーザスキャナ



UAVレーザスキャナ





3Dレーザー技術の応用(富岡町夜の森の桜並木の3D化、VR環境の整備)



富岡町夜の森桜並木



富岡町夜の森地区の桜並木を歩く疑似体験をする生徒—13日午後、郡山市・富岡町森野分室

目の前に夜の森桜

富岡町 立体画像システム完成

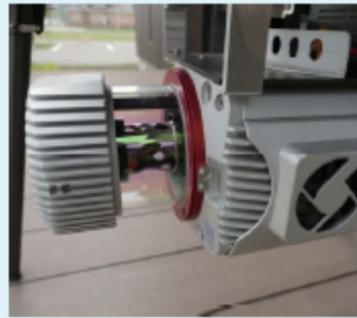
富岡町は同町の桜の名所、夜の森地区の桜並木を疑似体験できる立体画像システムを完成させた。郡山市の町森野分室で富岡一、富岡二中生に初公開した。町は1月小型無人機ドローンや3Dレーザースキャンでデータを計測し、それを合成し、画像を作り上げた。「ささ」とのつながりを感じてほしいと、現場に立入ることが難しいにもかかわらず、最初に現場でもうごかし、システムでは「アケル型」の画像再生装置を装着し、目の前に実際の大きさの風景が再現され、動きの場にいそいそな感覚を味わう。

この日は年々生々人が加じた。生徒らは装置を覗き、ゆっくり歩きながら桜並木を疑似体験し、「触れそう。本当にいるみたい」「ここが「きれい」なところ、ささの声を上げた。遊園地さん(富岡二中)は「震災後一度も帰っていないが、桜を見ることで良くなった。鮮明に思い出した」と感想を語った。

最新式の主な保有機材



UAV(無人航空機/ドローン)



UAV搭載型3Dレーザスキャナ



一眼レフカメラ

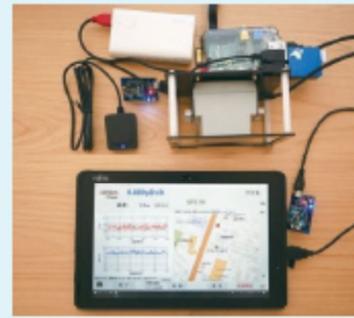
UAV/ドローン
搭載



UAV搭載型サーモグラフィカメラ



マルチスペクトルカメラ



UAV搭載型空間線量計



TOKIシステム動画



据置型レーザスキャナ(TLS)



車載型3Dレーザスキャナ(MMS)

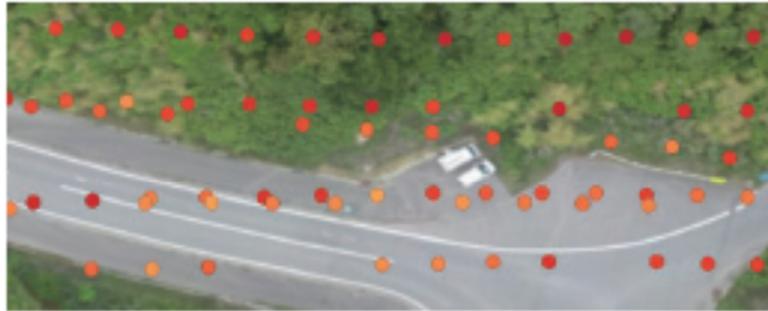


ハンディ型3Dレーザスキャナ

地上型3D計測
機器

新たな分野への展開

空間線量測定分析



土地被覆及び地形を考慮し、UAVにより計測した空間線量データから地上の空間線量を推定。

三次元点群データ



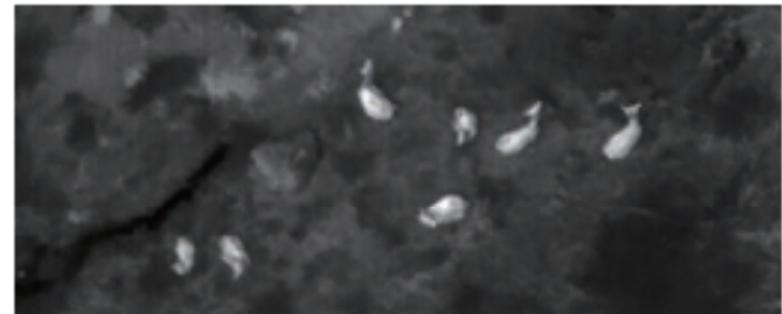
空中写真及び3Dレーザスキャナによる計測のデータから三次元点群データを作成。詳細な地物・地形データは様々な検討データとして応用可能。

マルチスペクトルデータ

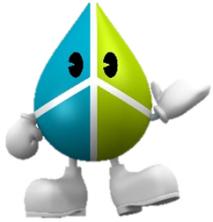


5バンド(光の波長帯:Blue,Green,Red,RedEdge,Near)を計測可能。各バンドの波長を解析することで対象物の性状(植物の育成状況など)を可視化。

サーモグラフィデータ



赤外線により物体の表面温度を可視化。温度画像を動物の行動、個体数調査及びソーラーパネルの点検などに活用可能(画像はシカの温度画像)。



海外コンサルティング

フィールドはふるさと
から世界まで！

◎ツバル／沿岸災害対応のための礫養浜パイロットプロジェクト

◎フィリピン／新ボホール空港建設に係る持続可能型環境保全プロジェクト

◎フィリピン／重点海岸における気候変動対策としての海岸保全整備

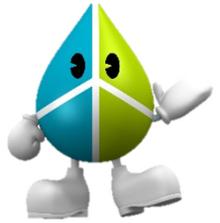
◎モーリシャス／海岸保全・再生に関する能力向上プロジェクト

◎インドネシア／重点海岸における気候変動適応策としての海岸保全整備調査

◎マダガスカル／サンゴ礁の環境配慮ハンドブック作成作業

◎セーシェル／海岸侵食及び洪水対策にかかる能力向上プロジェクト準備調査（海岸侵食対策）

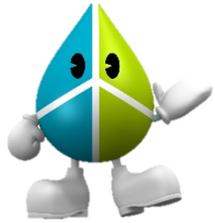




海外コンサルティング(一例)

ツバル沿岸防災対策



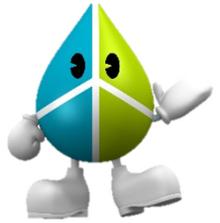


マチュピチュ遺跡（ペルー国）



1. 会社概要 2. 業務概要 3. ふたばでの働き方 4. 募集要項





海外コンサルティング(メディア紹介)



福島民報2016.3.13

案部 郡山 広報「おひやま」第678号 編集 郡山市政策開発部広聴広報課 〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目1番7号 TEL 0242-222222



世界に恩返しをしたい

父の会社を継いだ3年後に震災が発生しました。福島復興のため、震災の1カ月後に郡山市に事務所を移転しました。社員は全国に避難しました。21人いた社員は10人にまで減りました。その後、復旧・復興の仕事も増え、現在は社員30人で業務を行っています。

ツバルの海岸保全事業は、JICA(国際協力機構)から委託を受け、平成23年から行っています。通常は波消しブロックなどを使用しますが、景観や利用面などに支障をきたす、財政負担にもなります。そこで、自然の砂やれきり材を利用する独自の工法で、これらの問題をクリアしました。大きな効果を上げ、現地の方に感謝されています。

町は来年4月の帰還を目指して、当社も富岡町内と郡山市内に新社屋を建設し、今後も双方を拠点に活動します。震災のときに支援をいただいた世界の国々へ、被災と復興の過程で培った技術で恩返しをしたいと思えます。



株ふたば 代表取締役 遠藤 秀文さん

また、故郷のため何かをしたと思い、ドローンなどの3Dデータ化を始めました。特殊なメタデータで、満開の桜並木を見て歩くことができ、立ち入ることができない子どもたちも喜んでくれました。

国内外でさまざまな仕事を任せてきましたが、信頼関係の構築が重要だと思います。

富岡町出身の44歳。双葉高校、東海大学を卒業後、大手建設コンサルタント会社に入社し、20カ国以上でODA(政府開発援助)に参画。平成19年に退社し、前富岡町長である父・勝也さんが創業した同社を継ぐ。平成21年からODAによる技術支援の一環で、ツバルなど5カ国の海岸保全計画に携わる。

郡山市広報誌 2016年11月号

- 1. 会社概要
- 2. 業務概要
- 3. ふたばでの働き方
- 4. 募集要項



福島民報

2019 (令和元) 年 10月7日 月曜日

発行所 福島民報社
 福島市太白町13-17
 (郵便番号960-8602)

電話代表 (024) 531-4111
 編集局531-4122 広告部531-4153
 事業部531-4173 販売部531-4175
 購読のお申し込み ☎0120-373437

浜の挑戦

「福島発の技術を世界に広める」と語る遠藤社長

ふたばの遠藤秀文社長 った。
 「(宮)は福島民報社のイン ー双葉郡の復興・再生
 ティューに志じ、「福島 には何か必要か。
 て培った高い技術力を、「福島・国際研究産業
 世界に発信したい」と語 都市(インベーション

航空計測で森林再生

会社を継承できるのか。た勝世氏が背中を押しして。当時町長として災害。被災発生から四日後。対応の陣頭指揮を執っていた。つながった電話で「今、



地域の課題解決のために力を尽くす遠藤社長 (中央) と社員ら

父の言葉が後押し

「十二月にも、途上国の発展を支援している独立行政法人国際協力機構(JICA)と本契約を

「父の言葉が後押し」
 地域の課題解決のために力を尽くす遠藤社長 (中央) と社員ら

遺跡保全技術生かす

コースト構想に、地元 結ぶ予定だ。まずは、この企業が参入しやすい体制の調査で技術の有効性を構築しなければならぬ。認めてもらい、将来的に。企業誘致による産業 は世界各国の遺跡などの活性化や、住民の二地 保全に役立てたい」

「今後の事業展開は。は、交通網の整備も不可欠だ。新幹線の駅から一外に広めたい。毎年、留時間以内、福島空港から 学生の就業体験を受け入 着ている高速道路の建設 彼らが母国に帰って活躍 すること、海外の福島 へのネガティブなイメージを訴えていく」

「マチュピチュ遺跡」の ジが前向きになると期待している」

「十二月にも、途上国の発展を支援している独立行政法人国際協力機構(JICA)と本契約を

津路疾走

若松で鶴ヶ城ハーフマラソン

記事15面 会津若松市 会場の開かれた。開かれた。多の笑の

燃料電池の仕組み学ぶ

いわきバッテリーパークフェスタ2019は最終日の六日、開かれた。



求む!

「ふたば」県内でさまざまな挑戦を求めている。業務は建設・コンサル・インフラをはじめ、課題解決のための地域デザインや測量・用地調査、国内外の環境情報活動など多岐にわたる。問い合わせは同社宛。電話024(0)2530001。

「ふたば」県内でさまざまな挑戦を求めている。業務は建設・コンサル・インフラをはじめ、課題解決のための地域デザインや測量・用地調査、国内外の環境情報活動など多岐にわたる。問い合わせは同社宛。電話024(0)2530001。

ほまれ酒造

ほまれ酒造株式会社
 福島市松山町村松字常盤町
 電話(0241)22-5151

きょうのニュー
 男子400リレ
 只見線の実
 関電子会社

福島民報

ふたば

遠藤 秀文社長に聞く

遺跡保全技術生かす

「浜の挑戦」
 動きたすロボット産業



「福島発の技術を世界に広める」と語る遠藤社長

ふたばの遠藤秀文社長 った。
 「(宮)は福島民報社のイン ー双葉郡の復興・再生
 ティューに志じ、「福島 には何か必要か。
 て培った高い技術力を、「福島・国際研究産業
 世界に発信したい」と語 都市(インベーション

コースト構想に、地元 結ぶ予定だ。まずは、この企業が参入しやすい体制の調査で技術の有効性を構築しなければならぬ。認めてもらい、将来的に。企業誘致による産業 は世界各国の遺跡などの活性化や、住民の二地 保全に役立てたい」

「今後の事業展開は。は、交通網の整備も不可欠だ。新幹線の駅から一外に広めたい。毎年、留時間以内、福島空港から 学生の就業体験を受け入 着ている高速道路の建設 彼らが母国に帰って活躍 すること、海外の福島 へのネガティブなイメージを訴えていく」

「マチュピチュ遺跡」の ジが前向きになると期待している」

「十二月にも、途上国の発展を支援している独立行政法人国際協力機構(JICA)と本契約を

求む!

「ふたば」県内でさまざまな挑戦を求めている。業務は建設・コンサル・インフラをはじめ、課題解決のための地域デザインや測量・用地調査、国内外の環境情報活動など多岐にわたる。問い合わせは同社宛。電話024(0)2530001。

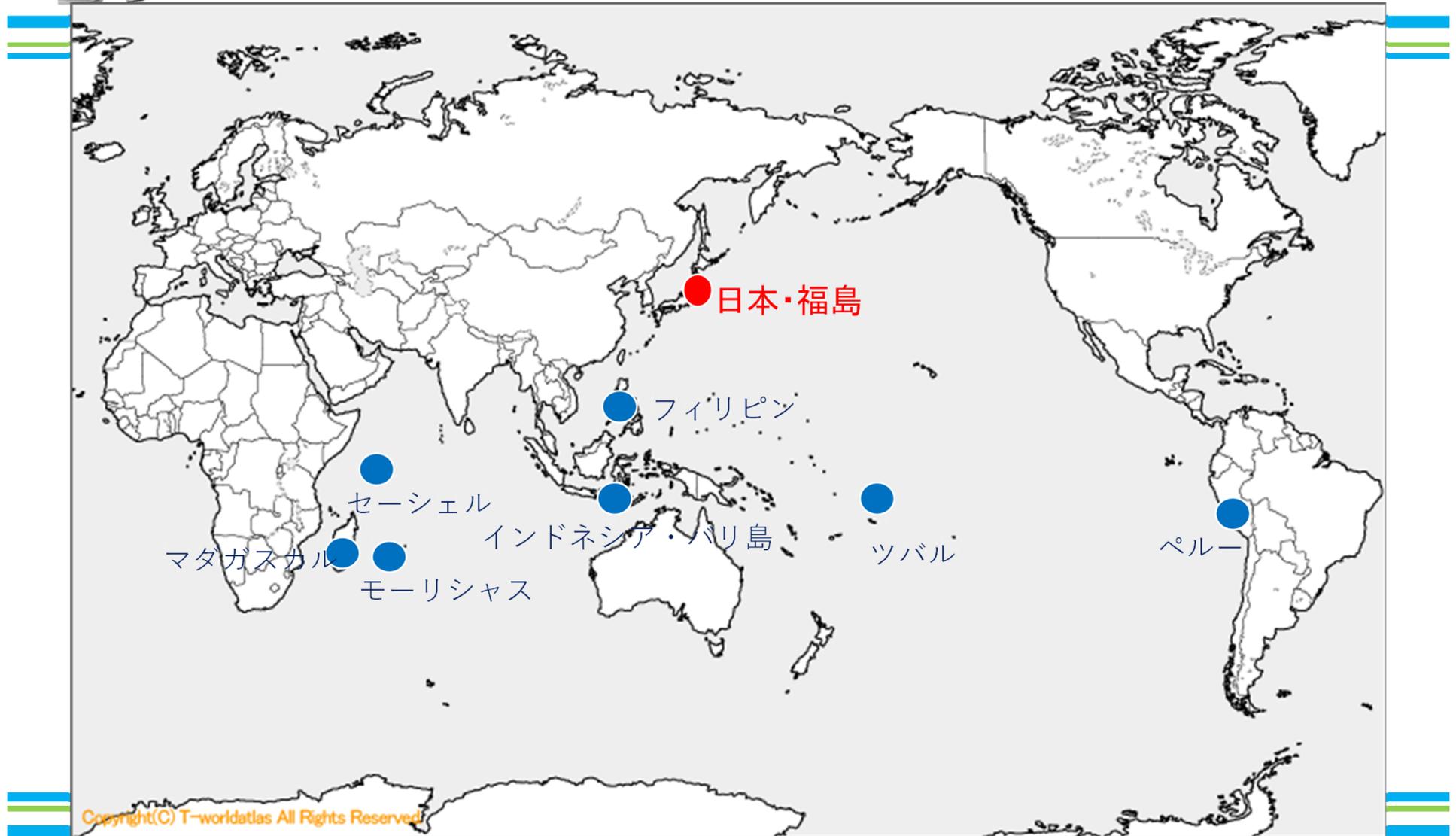
燃料電池の仕組み学ぶ

いわきバッテリーパークフェスタ2019は最終日の六日、開かれた。

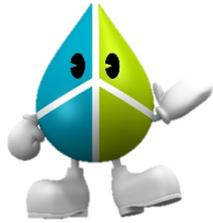




(株)ふたばが関わった海外案件の一例

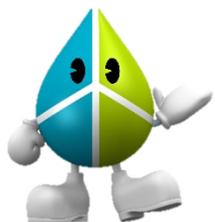


Copyright(C) T-worldatlas All Rights Reserved



当社がこれまで携わった海外案件一覧

年度	発注者	対象国	業務略称	業務概要	担当
H29	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	フィリピン国	ダバオ治水対策プロジェクト詳細計画策定調査(海岸保全・高潮対策)	ダバオ市内における高潮および海岸侵食に関する現状把握と課題の抽出。各課題に対する対応策の立案。	・高潮対策計画 ・海岸保全計画
H27	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	マダガスカル国	全世界サンゴ礁の環境配慮ハンドブック作成調査	マダガスカル国の港湾周辺においてサンゴ調査を行い、マダガスカル国を含む世界標準の環境配慮ハンドブックの作成	・サンゴ礁保全計画 ・サンゴ現況調査
H25～H29	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	ツバル国	沿岸災害対応のための礫養浜パイロットプロジェクト/ツバル	設計の見直し、施工計画の再検討、地形、波浪および珊瑚等のモニタリング調査を実施。施工管理とモニタリング、技術移転を行う計画	・海岸管理計画 ・材料調達計画 ・海岸工学/モニタリング
H25～H26	大手建コン	フィリピン国	新ボホール空港建設に係る持続可能型環境保全プロジェクト/フィリピン	新空港建設に伴い、環境保全のため珊瑚礁生態調査を実施	・サンゴ礁保全計画 ・サンゴ現況調査
H25～H26	一般社団法人国際建設技術協会	フィリピン国	重点海岸における気候変動対策としての海岸保全整備/フィリピン	海岸侵食や高潮・高波被害に対する実態把握、要因分析、背後域の地域生活や経済活動を踏まえた脆弱性評価、これらを踏まえた海岸整備の必要性・優先度を検討	・海岸保全計画 ・海岸水理/モニタリング
H24～H27	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	モーリシャス国	海岸保全・再生に関する能力向上プロジェクト/モーリシャス	海岸侵食対策の検討およびモーリシャス国関係機関の能力向上(珊瑚礁の保全、GISによる管理手法を構築)	・海岸管理計画 ・サンゴ礁保全計画 ・GIS/測量
H24～H25	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	ツバル国	沿岸災害対応のための礫養浜パイロットプロジェクト/ツバル	地球温暖化による水没危機の短期的な対策として礫養浜の実施を提案、有効性と妥当性を試験施工により検証を目的とした礫と砂による養浜工の調査設計	・海岸保全計画 ・海岸管理計画 ・海岸保全施設設計/積算 ・施工計画 ・海岸水理/モニタリング
H23～H25	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	インドネシア国	重点海岸における気候変動適応策としての海岸保全整備調査/インドネシア	地元関係者を含めた持続的な海岸管理手法の検討。新たな海岸保全事業の実施について、その実現可能性を検討	・海岸管理計画 ・測量/モニタリング ・海岸水理計画
H23～H24	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	インドネシア国	バリ海岸保全事業(II)協力準備調査/インドネシア	深刻な海岸侵食を保全するため、維持管理について持続的な海岸管理手法の検討、海岸保全事業における概算事業費、実施スケジュール、実施方法(調達・施工)、事業実施体制、運営・維持管理体制、環境および社会面の配慮など、優先整備事業の実現可能性を検討	・海岸管理計画 ・測量/モニタリング ・海岸水理計画
H23～H24	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	ツバル国	沿岸災害対応のための 礫養浜パイロットプロジェクト/ツバル	高潮災害(気候変動によるリスクも含む)に対し、島本来の姿である礫と砂から構成されている海岸を養浜により復元する対策工法を立案	・海岸保全計画 ・海岸管理計画 ・海岸保全施設設計/積算 ・施工計画 ・海岸水理/モニタリング
H22	一般社団法人国際建設技術協会	インドネシア国	インドネシア国全国海岸侵食調査	スマトラ島、ジャワ島、バリ島、ロンボク等における海岸侵食調査および案件発掘	・海岸保全計画/モニタリング
H21	独立行政法人国際協力機構 (JICA)	セーシェル国	セーシェル国海岸侵食及び洪水対策にかかる能力向上プロジェクト	セーシェル国のマヘ島、プララン島、ラ・ディエグ島の主要3島において海岸侵食に関する現地調査を行い、海岸侵食の特性の把握、既に実施されている海岸保全事業の問題点と課題について分析した。また、各島において潜水によるサンゴ現況調査を行い、リーフ内外のサンゴの生息状況および白化からの回復状況など定性的な評価を行った。	・海岸保全計画



当社が今後関わる海外案件

2021年スタート案件

- インドネシア国海岸保全分野に関する情報収集・確認調査
発注者：JICA
実施体制：大手コンサルタントと3社JV)
- インドネシア国バリ海岸保全事業II
発注者：インドネシア政府
実施体制：大手コンサルタントの補強
- ペルー国 マチュピチュ地区での3D測量技術による文化遺産の保全と活用のための基礎調査
発注者：JICA
実施体制：ふたば単独

雇用確保

- 2021年4月より富岡本社でミャンマー人土木技術者2名雇用

国内外からの来訪者



ダボス会議若手メンバー



福島大学留学生



国家公務員新任研修(5省庁6名)



ソロモン人技術者のインターンシップ



株式会社ふたば 遠藤秀文
JICA研修生



海外特派員

ふたばのCSR



まちづくり支援



ワインづくり支援

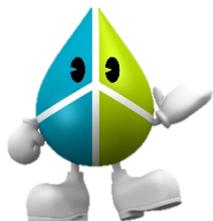


富岡第一中学校部活動支援

株式会社ふたば 遠藤 文



地域清掃活動(富岡町&郡山市)



表彰

「働く女性応援」中小企業認証書

企業の名称

株式会社ふたば

所在地

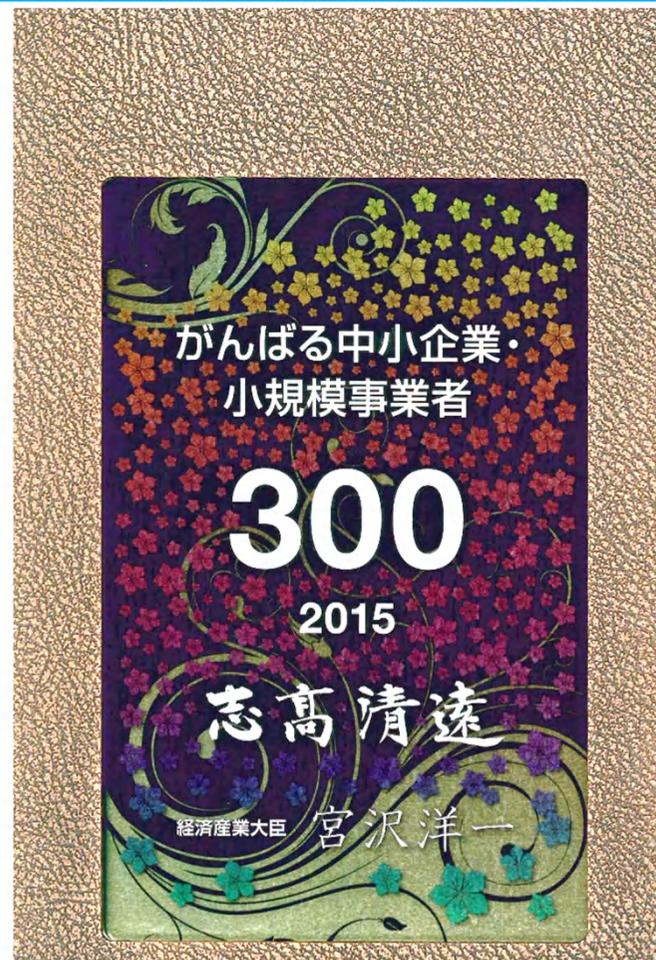
双葉郡富岡町大字小浜字中央 592 番地

福島県世代育成支援企業認証制度要綱第7条第1項の規定により、上記企業を「働く女性応援」中小企業として認証します。

認証番号 第 72 号

認証年月日 平成28年10月31日

福島県知事 内堀雅雄



ご静聴ありがとうございました。



(株) ふたばのマスコット
“ふたば君”